

文 教 厚 生 常 任 委 員 会 資 料
2025 年（令和 7 年）9 月 22 日
福祉局あかし保健所保健総務課

報告第 24 号及び第 25 号関連資料

地方独立行政法人明石市立市民病院の経営状況（令和 6 年度決算） 並びに業務実績に関する評価結果の報告について

市が出資した法人である地方独立行政法人明石市立市民病院（以下「法人」という。）について、地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 6（2024）年度の経営状況を報告します。

また、業務実績について、地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を踏まえて評価した結果を、地方独立行政法人法第 28 条第 5 項の規定に基づき報告します。

1 経営状況の報告〔決算〕

① 総括

2024 年度は、医師の働き方改革や診療報酬改定など、医療環境が変化する中、急性期医療を中心に総合的医療を推進し、特に救急医療では救急搬送患者数の増加に対応する体制整備により救急受入件数が過去最高となるなど、地域医療に大きく貢献しました。

一方で、収入面では、医業収益は前年より増加したものの、入院・外来患者数は目標値を大きく下回り、急性期・回復期ともに病床稼働率は前年を下回りました。また、費用面では、経費削減と労働生産性の向上に努めたものの、人件費や物価等の高騰による影響もあり、支出が増大し、結果として、すべての目標値を下回り、691 百万円の当期純損失が生じました。

② 収支決算（単位：百万円）

項 目		2019 年度 決算額※	2023 年度 決算額	2024 年度 決算額	差引
収 益	医業収益	7,600	7,695	7,740	+45
	運営費負担金収益	924	814	787	-27
	補助金等収益	20	278	29	-250
	計（上記以外を含む）	8,676	8,955	8,730	-226
費 用	給与費	4,738	4,984	5,132	+147
	材料費	1,822	1,748	1,877	+128
	経費	1,204	1,317	1,381	+64
	計（上記以外を含む）	8,544	9,031	9,420	+389
当期純利益		132	-76	-691	-614
資金残高		1,736	5,236	4,685	-551

※参考値として新型コロナウイルス感染症拡大前（2019 年度）の数値を掲載

③ 主な数値目標と実績

項 目		2019 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度 目標値	2024 年度 実績値	前年度との差 目標値との差
職員	常勤医師数	58 人	62 人	65 人	66 人	+4 人 +1 人
救急	救急車による搬入患者数	3,164 人	3,595 人	3,600 人	3,948 人	+353 人 +348 人
	救急車お断り率	19.8%	23.2%	22.0%	24.5%	-1.3 ポイント -2.5 ポイント
地域連携	紹介率	78.7%	88.5%	80.0%	88.0%	-0.5 ポイント +8.0 ポイント
	逆紹介率	83.6%	86.9%	85.0%	95.2%	+ 8.3 ポイント +10.2 ポイント
入院	一日平均入院患者数	259.2 人	257.9 人	276.5 人	246.5 人	-11.4 人 -30.0 人
	新入院患者数	7,377 人	6,265 人	7,200 人	6,482 人	+217 人 -718 人
	入院診療単価（急性期）	62,075 円	68,457 円	67,000 円	70,211 円	+1,754 円 +3,211 円
	入院診療単価 （地域包括ケア病棟）	33,965 円	41,729 円	43,000 円	40,527 円	-1,202 円 -2,473 円
	入院診療単価 （回復期リハビリテーション病棟）	30,364 円	34,223 円	35,000 円	34,887 円	+664 円 -113 円
	急性期病棟稼働率	77.9%	75.9%	82.0%	73.5%	-2.4 ポイント -8.5 ポイント
	地域包括ケア病棟稼働率	80.6%	84.8%	90.0%	74.3%	-10.5 ポイント -15.7 ポイント
	回復期リハビリテーション病棟稼働率	83.7%	93.7%	96.7%	93.0%	-0.7 ポイント -3.7 ポイント
外来	一日平均外来患者数	551.5 人	471.1 人	512.0 人	469.2 人	- 1.9 人 -42.8 人
	外来診療単価	17,007 円	16,853 円	16,800 円	17,772 円	+919 円 +972 円
財務諸表	材料費対医業収益比率	24.0%	22.7%	21.4%	24.2%	-1.5 ポイント -2.8 ポイント
	経費対医業収益比率	15.8%	17.1%	16.2%	17.8%	-0.7 ポイント -1.6 ポイント
	人件費対医業収益比率	62.3%	64.8%	62.0%	66.3%	-1.5 ポイント -4.3 ポイント
	経常収支比率	101.7%	99.2%	100.1%	92.7%	-6.5 ポイント -7.4 ポイント
	医業収支比率	95.3%	93.1%	98.0%	89.6%	-3.5 ポイント -8.4 ポイント
	修正医業収支比率	92.5%	89.0%	93.1%	85.7%	-3.3 ポイント -7.4 ポイント
	医業収益	7,600 百万円	7,695 百万円	8,225 百万円	7,740 百万円	+ 45 百万円 -485 百万円
	入院収益	5,183 百万円	5,690 百万円	6,027 百万円	5,624 百万円	- 66 百万円 -403 百万円
	外来収益	2,270 百万円	1,929 百万円	2,094 百万円	2,026 百万円	+97 百万円 -68 百万円

2 2024 事業年度の業務実績に関する評価について

(1) 評価の実施について

市は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき策定した「地方独立行政法人明石市立市民病院の業務の実績に関する評価実施要領」により、法人の 2024 事業年度に係る業務実績について総合的な評価を実施しました。

評価にあたっては、地方独立行政法人法及び地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会条例に基づき、評価委員会に意見を求めました。

(2) 2024 事業年度に係る業務実績の評価結果について

評価結果 「中期目標・中期計画の達成にはやや遅れている」

<総評>

第 4 期中期目標・中期計画の 2 年目となった 2024 事業年度は、医師の働き方改革の本格実施や診療報酬改定が行われるなど、医療を取り巻く環境がさらに変化しつつある中、急性期医療を軸とした総合的医療の推進に取り組んだ。

中でも、救急医療においては、救急搬送患者数が年々増加する中、体制を整え、救急受入件数は過去最高となるなど、地域の二次救急医療に大きく貢献した。さらに、脳神経外科において「一次脳卒中センター」の認定を取得するなど、高度な総合的医療の推進を図った。

また、組織としてチーム医療を推進し、診療科や部門を超えた多職種連携による TQM 活動等により、業務改善、医療の質の向上をめざし取り組んでいることは評価できる。

一方で、入院、外来患者数ともに目標値を大きく下回り、急性期・回復期ともに病床稼働率については、前年を下回る結果となっている。また、費用面においても、在庫管理の徹底や適正な労務管理等により経費削減、労働生産性の向上に努めたものの、全ての目標値を下回り、結果的に経常収支は大幅な赤字となった。

患者の受療動向が大きく変化したポストコロナにおいて、診療報酬の改定や、人件費及び物価高騰が続く社会情勢による影響もあるが、多くの目標値において、大きく下回る結果となったため、今後持続可能な病院経営をめざし、組織一丸となって経営改善に向けて取り組む必要がある。

(3) 参考

<評価委員会 委員名簿>

役 職	氏 名	職 名
委 員 長	明石 純	医療経営学研究所所長
副委員長	伊賀 文計	明石市医師会顧問
委 員	中田 精三	市立伊丹病院病院事業管理者
	工藤 美子	兵庫県立大学看護学部教授
	大谷 泰史	公認会計士